

苫小牧市立緑小学校PTAの組織と役割についてご紹介します。

一人一役とは

当PTAでは会員による一人一役を原則としています。

一人一役とは、PTAに設置された委員会や係活動から少なくとも1つを選択し、子ども達の学校生活を安全で安心なものにする活動のことです。

子ども達に健やかに成長してもらう為に、また学校生活を安全に楽しくおくってもらう為に保護者が積極的に学校に関わろうという活動です。

中には保護者の為の活動もあります。これらの機会を利用して、子ども達の学校での様子を観察してみよう、また保護者が学校に関わる姿を見せようという取り組みです。

つまり一人一役に代表されるPTA活動とは、「保護者だからやらくてはいけないもの」ではなく「子ども達のためにしてあげたいこと」なのです。

だから一人一役ではなく、二役、三役でもいいんです。

緑小PTAについて

当PTAは保護者と教職員が会員となって構成されています。また、地域の子ども達を見守る自治会(町内会)にご協力いただいています。

下図のとおり、PTA会員全員が一人一役を行う中で、役員・専門委員・係・事務局に役割分担し、PTA全体として地域の自治会・町内会、PTA連合会、苫小牧市教育委員会やその他公共機関と協力・連携しています。



役員組織

役員は会員の中から役員選考委員会を経て総会で承認されて就任するものと、会長が委嘱するものがあります。

会長・・・PTAを代表します。

副会長・・・会長を補佐します。

監査・・・収入および支出を監査します。

事務局・・・PTA全体の事務を司ります。

会計・・・主に収入を管理します。

専門委員会と係

当PTAには5つの専門委員会と8つの係があります。概要は「[専門委員会と係活動](#)」をご覧ください。

各会員が一人一役により「子ども達のためにしてあげたいこと」を各事業から選択します。会員はその事業を実施する各専門委員会や係に所属します。

係活動には専門委員会と協同行うものの他、市P連関連の活動などがあります。

各専門委員会においては立候補もしくは互選により委員長及び副委員長を選出します。

委員長及び副委員長は当該運営委員会を担当する教職員と連携し、また会員と協同で事業を実施します。

実施する事業内容は各専門委員会が独自に企画し、かつ運営します。